

～ 祝 100 歳! 末長くお元気で～

3人には福島県、田村市、田村市社会福祉協議会などから賀寿や記念品などが贈呈されました。



吉田 善晴さん

船引町堀越の吉田善晴さんが3月15日、満百歳を迎えられました。

善晴さんは春から秋まで農作業をし、収穫するのが楽しみと話していました。長寿の秘訣は「色々な趣味を持ち、自分のことは自分ですること」と話していました。



鹿又 篤次郎さん

船引町新館の鹿又篤次郎さんが2月20日、満百歳を迎えられました。

篤次郎さんは新聞を読むことが日課だそうです。長寿の秘訣は「畑仕事やつつじの手入れをして体を動かすこと」と話していました。「孫が4人、ひ孫が6人おり会いに来るのを楽しみにしている」とも話していました。



飛田 久丸さん

船引町門鹿の飛田久丸さんが2月20日、満百歳を迎えられました。

久丸さんは農機を使いこなし野菜を作り、自分で炊事をして生活しているそうです。長寿の秘訣は「自分のことは自分でやること、やりたいことを制限せず自由に生活すること」と話していました。



第50回市長杯
大越町剣道大会

3月3日、第50回市長杯大越町剣道大会、第41回市大越紅白剣道大会が大越武道館(旧大越娯楽場)で開催されました。

大越剣道スポーツ少年団は毎週2日、小学生6人が稽古に励み、個人のリーグ戦で熱戦を繰り広げました。また、親子剣道大会として、親子での対戦もありました。参加者は、寒さを吹き飛ばす掛け声と竹刀の音を響かせ、さわやかな汗をかいていました。



福祉施設等の防災研修会

2月28日、国の防災関係委員を歴任し、多くの実践活動に活動する跡見学園女子大学の鍵屋一教授を講師に、福祉施設職員を対象とした研修会を開催しました。

30人を超える参加者は、能登半島地震をはじめとした災害の被害状況やその背景・対策などを確認し、鍵屋先生の話に真剣に聞き入り、メモを取る姿も見られました。後半は、静岡県が開発したHUG(避難所運営ゲーム)を体験し、避難所での対応を模擬体験しました。



令和5年度
スポーツ講演会

田村市体育協会主催の5年度スポーツ講演会が2月25日、常葉公民館で開催されました。

市内のスポーツ少年団や体育協会等から約160人が参加。プロ野球独立リーグ・ルートインBCリーグの福島レッドホープス監督兼球団代表の岩村明憲さんが講師を務め、「野球による地域貢献」をテーマに講演しました。質問コーナーでは、岩村さんがバッティングで心がけている事やメジャーリーグ時代の思い出などを話しました。

Q 現在の活動内容を教えてください。

A 大学卒業後、声優になりたくて勉強していましたが、とあるきっかけで客演の役者として劇団に入りました。入ってみて、子供たちの純粋な笑顔に惹かれて児童青少年演劇の世界にはまり、劇団員になりました。結婚を機に制作や営業、事務職を担当し、前代表が引退する際に引き継ぎました。

Q 劇団をはじめたきっかけを教えてください。

A 学校を中心に全国で公演する劇団トマト座の代表取締役を務める伊東智恵美さんに、現在の活動内容や自身が描く夢を伺いました。

県内外の各分野で活躍している田村市出身者を紹介するコーナー

My Dream #3
心が動く体験機会を

伊東 智恵美さん



劇団トマト座の「ミクロの三銃士」

A 田村市では文化センターで小学生が芸術鑑賞をする機会があり、恵まれていると思います。私も文化センターでの芸術鑑賞教室の思い出が今でも残っています。お芝居を観ている子供たちの笑顔は私たちにとって何よりの宝です。心が動くこと、それは人が生きていく上で必要であると考えています。そのきっかけとなるような体験機会をこれからも全国の子供たちに届けていきたいです。

Q 自身が描く夢、市民へのメッセージをお願いします。

A 劇団トマト座は、全国の小中高等学校や教育委員会等のご依頼を受け、学校の体育館や文化施設等で公演しています。劇団員が舞台セットと共にマイクロバスに乗り、北海道から沖縄まで全国を旅しています。私は主に東京の事務所まで電話応対や経理をはじめ、衣装や小物の作成、新作の構想や営業など何でもやっています。



昆虫先生ムネリンの
たむら昆虫図鑑 NO.6

十日アゲハ



一般的に「アゲハ」と呼ばれている本種は日当たりの良い場所を素早く飛びチョウド。成虫は花の蜜を吸うけれど、幼虫はサンショウ等ミカン科植物の葉を食べる。吸蜜やミカン科植物に産卵に来たところを狙おう!



たむらクロスカントリー
大会

早春の風を受け、第9回たむらクロスカントリー大会が3月17日、市陸上競技場に隣接した全コース芝の市運動公園クロスカントリーコースで開催されました。全11部門に県内外から236人の選手が出場し、高低差約30mの険しい道のりで健脚を競いながら心地よい汗を流していました。

大会結果は、市ホームページに掲載していますのでご覧ください。



常葉中学校卒業生へ
図書贈呈

3月11日、青少年健全育成市民会議常葉支部の増田英子支部長から、常葉中学校39人の卒業生を代表して松本紗綾さん、松本紗葵さんへ小説「君たちはどう生きるか」と「一秒の言葉」のしおりが贈呈されました。

贈呈式では、増田支部長が「あえないあなたへメッセージ」の絵本を読み聞かせし、「失敗を恐れずはばたいてください。これからどのようなことがあっても乗り越えていけるよう見守っています」とメッセージを贈りました。